

山口情報芸術センター [YCAM] 研究開発／ワークショップ

YCAM InterLab Camp vol.2「TECHTILE (テクタイル)」

集中ワークショップ

2013年3月9日(土) 10:00-20:00、10日(日) 9:00-17:00 [2日間通し]

料金：一般30,000円／学生20,000円 ※要申込 定員：30名

山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

YCAMと慶應義塾大学との共同研究開発プロジェクト「TECHTILE (テクタイル)」 触覚を導入した「触感表現」を実際に体験できるワークショップを開催

山口情報芸術センター [YCAM] では、2011 年度から、「触感づくり（触感を積極的に取り込んだ表現）」のためのテクノロジー開発および表現コミュニティの形成を目的として、慶應義塾大学と共同で研究開発プロジェクト「TECHTILE (テクタイル)」を実施しています。

このたび、2年間に及んだこのプロジェクトの1つの節目として、触感のプロトタイピングを容易に可能にする〈テクタイル・ツールキット〉を中心に、実際に触感表現を体験し、議論する集中ワークショップを開催します。

2日間に渡っておこなう本イベントでは、創作のほかに、ゲストによるレクチャーや、パネルディスカッションも実施。「触感」というキーワードについて探求するとともに、触感の作り方や楽しみ方についてアート／サイエンス／テクノロジーなど様々な側面から議論を深めていきます。

誰もが知っていて、誰もが知らない「触感表現」。その入門に最適な本イベントでは、さまざまなバックグラウンドの方のご参加をお待ちしています。



プロジェクトの開発成果のひとつ「ツールキット」

TECHTILE 開発チーム

- YCAM InterLab
- 仲谷正史 (触覚研究者／コロンビア大学博士研究フェロー)
- 寛康明 (インタラクティブメディアデザイナー／研究者／エンジニア／慶應義塾大学環境情報学部准教授)
- 南澤孝太 (研究者／エンジニア／慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任講師)

ゲストパネリスト (五十音順)

- 青山拓央 (分析哲学研究者／山口大学時間学研究所准教授)
- 門林岳史 (メディア論研究者／関西大学文学部准教授)
- 菅野米蔵 (起業家／株式会社アイプラスプラス代表取締役社長)
- 城一裕 (研究者／アーティスト／情報科学芸術大学院大学 [IAMAS] 講師)
- テクノ手芸部 (アートユニット)
- 永原康史 (グラフィックデザイナー／多摩美術大学情報デザイン学科教授)
- 松井茂 (詩人／東京芸術大学芸術情報センター助教)

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ 山口情報芸術センター [YCAM] 情報制作課 田中
TEL: 083-901-2222 FAX: 083-901-2216 メールアドレス: press@ycam.jp
〒753-0075 山口県山口市中国町7-7 <http://www.ycam.jp>
取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。



YCAM InterLab Camp vol.2 「TECHTILE (テクタイル)」



YCAMで実施したTECHTILEワークショップの様子

YCAM InterLab Camp (ワイカム インターラボ・キャンプ) は、第一線で活躍するエンジニアや研究者を外部から迎え、最新のテクノロジーやツールの最新情報、そしてそれらを表現へ応用するための方法について、レクチャーやワークショップなどを通じて紹介／普及する取り組みです。

2008年に続いて第2回目の開催となる今回は、2011年度から2年間に渡って、触感を表現する技術「TECHTILE (テクタイル)」をメインテーマに、YCAM内の研究開発チーム「YCAM InterLab」と慶應義塾大学の仲谷正史氏、笥康明氏、南澤孝太氏と共同で、TECHTILEの普及を視野に入れた研究開発プロジェクトを実施しています。

プロジェクトでは、触感を容易に表現するためのプラットフォームとして「ツールキット」と呼ばれる装置の開発を実施しているほか、大学などでのワークショップや、シンポジウムなどを開催し、触感表現に関するコミュニティを形成するための取り組みもおこなっています。また、研究学会での発表など対外的な活動も積極的におこなっており、2011年にはその活動が評価され、グッドデザイン賞を受賞しました。

「触感」とは？

「触感」とは、「触覚」を中心に、諸感覚や記憶、言語などを統合して主観的に得られる質感を指します。触覚を刺激するだけではなく、「触感をつくる」という視点を導入することで、触にまつわる表現がより豊かな広がりを持てると考えています。

■ YCAM InterLab

山口情報芸術センター [YCAM] に附属するメディアアートを専門とした研究開発チーム。主にYCAMの委嘱作品として発表するインスタレーション作品やパフォーミングアーツ作品の技術開発をおこなっている。また、文化施設における技術者間の交流と人的ネットワークの構築、研究領域の拡大・普及を目的とし、国内外から研究者を招聘する共同研究などにも積極的に取り組んでいる。

■ 仲谷正史 (触覚研究者)

ハーバード大学リサーチアシスタントを経て、2008年、東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。同年、民間企業において触感評価技術の開発に従事。2009年より慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科リサーチャーを兼任。TECHTILEの活動を通じた、触感デザインの普及もおこなっている。

■ 笥康明

(インタラクティブメディアデザイナー／研究者／エンジニア)

2007年、東京大学大学院学際情報学府博士課程修了。科学技術振興機構さきがけ研究員、慶應義塾大学専任講師を経て、現在は同大学環境情報学部准教授。実世界指向情報環境、インタラクティブメディア、メディアアートを専門に研究するほか、近森基と久納鏡子によるメディアアートユニット「minim++ (ミニムプラプラ)」とのコラボレートを中心にアート作品も発表している。

■ 南澤孝太 (研究者／エンジニア)

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科特任講師、リアリティメディア研究機構理事。博士(情報理工学)。JST-CREST「さわれる情報環境」プロジェクトにて、触覚・身体運動・3D映像を統合したユーザインタフェースの研究開発を行う。TECHTILEではツールキットの開発を担当している。

多角的な視点から触感表現への理解を深める充実のプログラム



シンポジウム「TECHTILEという考え方」の様子(2011年)

今回、プロジェクトの集大成として2日間の「集中ワークショップ」を開催します。このイベントでは、最新版のツールキットを公開するとともに、それを用いたワークショップを実施するほか、デザイン／アート／サイエンスなどの分野の人々が触感表現について討議するパネルディスカッションを実施します。TECHTILEの様々なケーススタディや、ツールキットを用いて制作されたデモ展示もおこないます。

1日目(3月9日):ワークショップ

まずツールキットの組立からスタートし、最終的には小作品の制作と発表をおこないます。この間、レクチャーなどさまざまなプログラムが組まれており、講師も含め他の参加者とディスカッションしながら、アイデア出しから実装、そして表現としてのプレゼンテーションまでを実践していきます。YCAMならではの広い空間と、ツールキットを拡張可能にする各種デバイスなどを用意しています。

2日目(3月10日):パネルディスカッション

「触感×表現」「触感×アイデア」「触感×言語」「テクタイル×未来」という4つのパネルセッションを開催し、それぞれの分野で活躍する専門家たちがTECHTILEの魅力や今後の展望について議論を展開していきます。古今東西、多くの分野で個別に深く語られてきた「触」について、テクタイル開発チームをモデレータに、改めて学際的に語る場を設けます。

パネルディスカッション ゲストパネリスト

■ 青山拓央 (分析哲学者)

1975年生まれ。山口大学時間学研究所准教授。哲学の観点から、おもに時間・言語・自由・心身関係を考察。日本科学哲学学会石本賞、文部科学大臣表彰科学技術賞(グループにて)受賞。

■ 門林岳史 (メディア研究者)

1974年生まれ。関西大学文学部総合人文学科映像文化専修准教授。専門はメディアの哲学、表象文化論。著作として『ホワッチャドゥーイン、マーシャル・マクルーハン?—感性論的メディア論』(2009年)。

■ 菅野米藏 (起業家)

1948年生まれ。株式会社アイプラスプラス代表取締役社長。システムエンジニアとして勤務後、98年から盲人用生活補助装具の研究に着手。2001年盲人用画像認識装具を特許出願。09年「AuxDeco (オーデコ)」が製品化される。

■ 城一裕 (研究者/アーティスト)

1977年生まれ。情報科学芸術大学院大学[IAMAS]講師。主なプロジェクトに、「The SINE WAVE ORCHESTRA」、「生成音楽ワークショップ」「cutting record」など。

■ テクノ手芸部 (アーティストユニット)

かすやきょうこ、よしだともふみによるアートユニット。手芸と電子工作という異なる領域を組み合わせた作品を『テクノ手芸』と名付け、作品制作やワークショップを展開している。

■ 永原康史 (グラフィックデザイナー)

1955年生まれ。多摩美術大学情報デザイン学科教授。ブックデザインや電子メディアのプロジェクト、展覧会のアートディレクションなどを手がけている。

■ 松井茂 (詩人)

1975年東京生まれ。詩人。東京藝術大学芸術情報センター助教。「音韻と感覚イメージによる触感覚デザインの研究」(科研)以来、渡邊淳司(NTT基礎研)と同研究を展開している。

タイムテーブル

3月9日(土)

10:05	10:05
10:30	10:30
12:00	12:00
13:30	13:30
15:00	15:00
15:15	15:15
19:00	19:00
20:00	20:00

イントロダクション

ワークショップ 1

ツールキットの組立など

ゲストレクチャー

ワークショップ 2

小作品の制作、
モダリティ変換ワークショップ、
ツールキット拡張ワークショップなど

発表

3月10日(日)

10:05	10:05
11:30	11:30
13:00	13:00
14:00	14:00
15:30	15:30
17:00	17:00

セッション1: 触感 × 表現

永原康史 城一裕

セッション2: 触感 × アイデア

菅野米藏 テクノ手芸部 会田大也 (YCAM)

セッション3: 触感 × 言語

青山拓央 松井茂 門林岳史

セッション4: テクスタイル × 未来

TECHTILE 開発チーム

開催概要

YCAM InterLab Camp vol.2 「TECHTILE (テクスタイル)」

集中ワークショップ

2013年3月9日(土) 10:00-20:00

10日(日) 9:00-17:00 [2日間通し]

会場: 山口情報芸術センター [YCAM] スタジオA

講師: YCAM InterLab、仲谷正史、寛康明、南澤孝太

ゲストスピーカー: 青山拓央、門林岳史、菅野米藏、城一裕、テクノ手芸部、永原康史、松井茂

料金: 一般30,000円/学生20,000円(ツールキット代を含みます) ※要申込

対象: メディア表現に関連する領域の研究者、教育関係者およびメディア表現に興味のある学生

定員: 30名

※スタジオAロビー内の展示は無料で観覧いただけます。

※2日目のパネルディスカッションのみのご参加も受け付けております(料金: 3,000円/定員: 30名/要申込)。

主催: 公益財団法人山口市文化振興財団

後援: 山口市、山口市教育委員会

平成24年度文化庁地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ

共同開発: YCAM InterLab、慶應義塾大学環境情報学部寛研究室、慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科館研究室

企画制作: 山口情報芸術センター [YCAM]

■ ワorkshop 申込方法

下記の項目を明記の上、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。2日目のパネルディスカッションのみのご参加についても同様です。

・イベント名

・住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日

・電話番号、メールアドレスなど連絡先

・所属

メールアドレス:

workshop@ycam.jp

ワークショップについてのご質問も上記までお寄せください

FAX:

083-901-2216

車椅子席・補聴システム

事前にお問い合わせください